

事例

人と人がつながり、健康づくりと食育の輪を広げていく
(第8回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)

宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA (京都府)

宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHAは、令和元（2019）年に発足した、健康づくりや食育活動に取り組んでいる団体のネットワークで、地域社会での食育活動を活性化させ、生涯にわたって住んでいるだけで自然と健康になれる食環境を作ることを目指して活動しています。宇治市内の飲食店や企業、医療機関、生産者、市民団体など、計112団体（令和6（2024）年10月時点）が加入しており、専門分野の違う団体同士が連携し、取組の効果を最大限に発揮できるように工夫しながら市民の健康寿命の延伸を目指した食育活動に取り組んでいます。

具体的な活動として、京野菜農園で親子で旬の野菜を収穫し、その場で和食料理人が野菜を調理し実食する体験型教室「うーちゃ学校 宇治の青空レストラン」では、生産から食卓までの食べ物の循環について学ぶとともに、「共食」、「地産地消」、「和食文化の継承」、「農業体験」の観点から食育を推進しています。

ほかにも、健康づくりや食育をコンセプトに市内飲食店やNPO法人等がつくる「うーちゃ弁当」の販売、加入団体同士が斬新なアイデアを出し合い情報交換を行う「うーちゃミーティング」等を行っています。そして年1回、健康づくりや食育の推進の活動を多くの市民に周知するための大規模なイベント「うーちゃフェスタ」を開催しています。さらに、U-CHA独自の事業だけでなく、市内のイベントへの出展や地元産野菜を使ったレシピ集の発行など、活動の幅を多方面へ広げています。

このような活動を通じて、宇治市が地域ぐるみで食育の推進に取り組んでいることを市民に広く周知し、市民一人一人が食育の意義や必要性を自分事として理解するとともに、自らが主体的に食育を実践できる社会環境を構築しています。

今後も引き続き、人と人とのつながりを大切にし、健康づくりと食育の輪を広げる活動を継続していき、活動を通じて自然に健康で幸せな暮らしができるまちづくりを目指していきます。



うーちゃフェスタの様子



うーちゃ学校の様子

第3章

地域における食育の推進